

02-03 *Special Issue*

対談:リーダーが語る、京都とサンガの未来。

INTERVIEW

## TEAM KYOTO

サンガのJリーグ昇格時に発足して以来、「京都サンガF.C.アワードパーティー」の開催や「アウェイ応援バスツアー」の運営など、さまざまな角度からサンガをサポートしてきた「京都パープルサンガ後援会」。「TEAM京都対談」の2回目は、佐藤大臣仁後援会専務理事と、キャプテン染谷悠太が考える京都のまちとサンガがこれからあるべき姿や、互いのリーダーシップ論について意見を交わしました。

05 *SANGA Tsunagari-Tai*  
「笑顔」からスタートしよう!08 *Information*

オフィシャルウェザーアドバイザー誕生!

サンガ公式Twitterで「天気」をキーワードに情報をお伝えする「京都サンガF.C.オフィシャルウェザーアドバイザー」に、毎日放送「ちんぷいぷい」などで活躍中の気象予報士・前田智弘さんが就任。

04 *Featured Players*ショートインタビュー(黒木恭平/庄司悦大)  
後半戦を熱く彩る男たち

ピッチに立つや否や、フルスロットルで左サイドを上下動してチームの活性化に貢献する黒木恭平と、多彩なパスでサンガの攻撃のスイッチを入れる“サンガの心臓”庄司悦大が、リーグ戦終盤の熱い戦いに臨む心境を語る。

06 *Sanga & Hometown*

磐瀬剛と田村亮介がハンドボールに挑戦



1988年の京都国体のハンドボール会場になって以来、ハンドボールの普及に力を注ぎ、各世代で国内トップクラスの選手を数多く輩出してきた京田辺市の強豪小学校を磐瀬剛と田村亮介が訪問。小学6年生の練習に参加して、スピード感あふれる試合展開や迫力のシュートシーンなど、ハンドボールの魅力を体験しました。

07 *Academy Special*

サンガの選手・コーチが小学校を訪問



毎年、春と秋の2回にわたって開催される「京都サンガF.C.アカデミースペシャル」は、サンガの選手やコーチがホームタウンの小学校に赴き、子どもたちとゲームやサッカーで一緒に体を動かしながら交流を図る恒例行事。今回は木津川市の城山台小学校に黒木恭平選手と金久保順選手が訪問した様子を密着レポート。

November

## Match Information

## ■2018明治安田生命J2リーグ 京都サンガF.C.試合日程

|      |                 |             |       |
|------|-----------------|-------------|-------|
| 第40節 | 11月 4日(日) 15:00 | 愛媛 F.C.     | 西 京 極 |
| 第41節 | 11月10日(土) 15:00 | ジェフユナイテッド千葉 | 西 京 極 |
| 第42節 | 11月17日(土) 14:00 | カマタマーレ讃岐    | ピカスタ  |



ムラサキマツリ

MURASAKI MATSURI

<http://www.sanga-fc.jp>

#sanga







# TEAM KYOTO

## リーダーが語る、京都とサンガの未来。

京都パープルサンガ後援会 専務理事 佐藤 大臣仁 × 京都サンガF.C. 15 DF 染谷 悠太

### 後援会だからこそ、できることがあるはず

——先日、TEAM京都という一面広告が京都新聞に掲載されました。京都府サッカー協会や京セラ、そして京都パープルサンガ後援会からもメッセージが掲載されています。

**佐藤専務理事** ●後援会として、成績が良かろうが悪かろうが、様々な事業を通じてサポートしていく姿勢は変わりません。今年でJ2在籍が8年目を迎えて「J1へ早く昇格して欲しい」という声はあるでしょうが、選手やスタッフやフロント、チームを支える裏方の方々などをサポートしていきたい。京都の伝統文化などと比べれば、この街のプロスポーツとしての歴史はまだ浅いです。サンガのあと、女子プロ野球のフローラやバスケットボールのハンナリーズなど新たなプロスポーツも誕生しましたが、それらを京都の地域社会に広めて、京都ならではのプロスポーツ文化を作り上げていけると思っています。

——改めて、後援会の歴史を教えてください。

**佐藤専務理事** ●サンガは1995年にJFLからJリーグへ昇格しましたが、その前から各地域の青年団体を主体として発足の準備が始まりました。そしてJリーグ昇格初年度の1996年に後援会が正式に発足しました。Jクラブの後援会としては、京都が一番最初にできたんですよ。サポーターはすでにスタジアムで応援していたので、後援会としては経済界や地域社会の様々な団体などとの橋渡しをして、サンガを後押ししていく。チームが強いときも、そうでないときも、サンガと地域社会の活性化を目指して活動してきました。今回の「TEAM京都」もその一環です。こう言うのもおこがましいですが、後援会のメンバーの多くは会社の代表を務めています。経済界に精通している人が多い。堀場厚後援会会長も常々「(我々だからこそ)できることがある」とおっしゃっています。

**染谷** ●後援会の皆さんはどんなときもサポートしてくださってですし、話を聞きながら改めて凄いことだなと感じています。

「TEAM京都」の広告もすごくありがたかったし、逆に僕たちが結果を出せていないことで、そういうことをさせてしまっているという面もあると思うんです。その気持ちを汲み取って、次は明るい、みんなが喜べるような話題を提供していきたいですね。

——規模が大きい事業として、年末の後援会アワードパーティーがあります。

**染谷** ●いいときに大きなパーティーがあるのはわかるんですが、よくないシーズンとなってしまった年にも大きなパーティーが開かれて、考えられないような多くの方が集まってくれる。このクラブの規模を考えても早くJ1へ昇格しなければいけないし、その期待に結果で応えたいと選手全員が思っています。

### 京都という街に、サッカー文化を育みたい

——京都にはさまざまな文化や娯楽があります。その中でサッカー文化をどうやって盛り上げていくかは、我々に課せられた課題のひとつです。

**佐藤専務理事** ●後援会のアウェイバスツアーにはたくさんの方が参加されますし、年5回ほど実施しています。年末のアワードパーティーにも、成績に関わらず毎年400人ほどの方が集まります。そこにJ1昇格などの成績が伴えば、僕たちも更にクラブやサポーターを盛り上げていくつもりです。今は辛い時期ですが、そんな中でも一人ひとりの方に応援してもらいたいし、フットサル大会を開いて親睦を深めることもしています。これからも時代にそったサポートを考えていきたいです。

**染谷** ●これだけ多くの人や企業が関わってくれている中で、例えば今年のような成績だといろんなことを言われると思うんです。悔しい思いもされているでしょう。盛り上げていくには結果を出すのが一番だし、「京都の街にはいろんなものがあるけど、サッカーもあるよね」と言ってもらえるようにしたいですね。やっぱり僕たち選手の立場からは結果を出す、出し続けることが大事なかなと思います。そうすることで佐藤さんや後援会の方々「もっとサポートしたい」、「こんなこともできるんじゃないかな」となっていくはずですよ。

**佐藤専務理事** ●僕も含めて後援会のメンバーは、可能な限り西京極へ行っ試合を見に行きます。試合内容はもちろん、どれくらい観客が集まっているのかも気になりますね。後援会としては、勝利した試合で活躍した選手をマン・オブ・ザ・マッチとして選んでいます。それと、今回の対談が決まってからは、やっぱり染谷選手が気になるのでプレーを追いかけていました。そうして観戦した試合で感じたものが日々の活動の励みにもなりますし、試合での選手の熱意というのは必ず伝わるものです。どれだけグラウンドで本気に戦ってくれているのか、走っているのか。今はそれを楽しみにしています。

——佐藤専務理事もサッカーをプレーされているんですか？

**佐藤専務理事** ●私も染谷選手と同じDFです。右サイドバックなんです。

**染谷** ●そうなんですか！ サンガだとビツさん(石櫃洋祐)ですね。

**佐藤専務理事** ●でも彼のように何度も攻撃参加はできません。シニアは30分ハーフなんですけど、前に出たらなかなか戻って来れない

ココン烏丸 地下

四条通 阪急烏丸駅 23番出口 25番出口

室町通 至 京都駅

多彩な一品料理からフルコースまで  
本流を行く中国料理をお楽しみください

出来立て点心を香港式ワゴンサービスで  
実際に見て選ぶ楽しさを堪能ください

ご予約・お問い合わせ TEL.075-341-1800

営業時間 ランチ 11:30-15:30 (L.O.15:00)  
ディナー 17:00-22:00 (L.O.21:00)

<http://oldhongkong-kyoto.net>

COCON KARASUMA

古 今 烏 丸

地下鉄烏丸線「四条駅」2番出口すぐ  
阪急京都線「烏丸駅」23番出口25番出口すぐ  
市バス「四条烏丸」徒歩すぐ

老香港酒家京都  
OLD HONGKONG RESTAURANT KYOTO



京都サンガF.C. 15 DF

## 染谷 悠太

Yuta SOMEYA

1986年9月30日生まれ。東京都出身。FC東京 U-18、流通経済大学を経て2009年、京都サンガF.C.に加入。ルーキーイヤーからコンスタントに出場した。2014年から2シーズン、セレッソ大阪でプレーした後、サンガに復帰。今季はチームキャプテンを務めている。



くて(笑)石櫃選手は本当にすごいですね。重要なポジションで、ずっと試合に出続けている。尊敬しています。

### スタジアムは、サッカーに欠かせない“しつらえ”

——若年層だけでなく、シニア世代もスポーツを楽しめる環境というのは大切ですね。

**佐藤専務理事**●先日の京都府サッカー協会の村山会長と岩崎選手の対談も拝見しましたが、村山会長のおっしゃるような京都でサッカーをできる場所を増やしていきたいです。亀岡には新スタジアムが建設中ですが、大きなスタジアムだけでなく、その周りの環境を整えていくことも重要ですからね。それによってサッカーに限らず、いろんなことができると思うんです。

——亀岡の新スタジアムは2020年から始動する予定です。

**佐藤専務理事**●スタジアムは前・京都府知事の山田啓二さんが「亀岡に」ということで場所が決まり、大変多くの署名も集まりました。アユモドキの問題などもありましたが、現在は亀岡駅のすぐ近くで建設が始まっています。後援会も「京都・サッカースタジアムを推進する会」に加わって、平成25年に、新スタジアムの要望書を府に提出させてもらったことがあります。鹿島やJリーグから人も招いて、実際にスタジアムがどのように運営されているのかの話も聞きました。そうしたことも後援会の使命の一つです。堀場会長がよくおっしゃっているんですが、どんな京料理でも器が大切に、器をサッカーに例えればスタジアムです。京都ならではの見せ方もあるでしょうし、その中で選手が生き生きとプレーすれば、いい器といい料理になります。そういう形を見据えれば、スタジアムは本当に大事な“しつらえ”ですね。2020年は、もうすぐそこです。先日も亀岡サッカーデーがありましたが、もっとダイレクトなPRや展開があればいいなと感じています。

**染谷**●僕も先日、亀岡市長の桂川(孝裕)さんと建設中のスタジアムを回らせてもらったんですが、感慨深いものがありました。サッカー専用スタジアムは自分も好きなので、それが京都にできるのは嬉しいです。それを、もっと広めていきたいです。あそこを京都

サッカーの聖地にしたいし、プレーする選手にも「あそこでやってみたいよね」と思わせたいですね。

——選手の立場から、専用スタジアムの魅力はどこにあるのでしょうか？

**染谷**●ピッチと観客席の距離が近いので、必然的にお客さんとの距離感も近くなります。選手の息遣いや、身体と身体がぶつかる音なんかも聞こえて、陸上競技場とはまた違った臨場感が感じられるのが魅力だと思います。

**佐藤専務理事**●僕も専用スタジアムで何度も観戦しましたが、それこそスパイクとスパイクの当たる音が聞こえるんです。選手の声も聞こえ、「あんなことを言ってるんだ」と思うこともあります。そうしたことを肌で感じることができる。それは観戦する立場としても、すごく魅力的ですよ。

### 経営者とキャプテン、それぞれのリーダー論

——佐藤さんは会社を運営されていて、染谷選手も今季のキャプテンを務めています。お二人のリーダー論というものを聞かせてもらえないでしょうか？

**佐藤専務理事**●僕は確固たるものを持っているわけではないんですが、いま尋ねられて思うのは、僕自身は会社の中では後援会のような存在です。社員の姿を見ながら、要所要所では決断をしています。あまり細かいことまでは決めずにいます。会社によって様々なケースがあるでしょうが、僕は社員のみんなに支えてもらっています。時代の移り変わりが早いので、そこにどう対応していくのか。社員の日々の取り組みを見ながら、考えています。

**染谷**●僕は人前に立ったり、全員の前で話すことが必ずしも得意ではありません。自分が意識しているのは、それだったら姿勢などから、みんなに「自分もがんばらなきゃ」と思ってもらえるようにしていくことです。背中から引っ張っていきけるようになりたい、ならなきゃいけないです。佐藤さんの話を聞いていて、比較するのはおこがましいんですが、サッカーも1人では何もできません。僕もチームメイトに支えてもらっています。みんながいるから、がんばれる。がんばって引っ張っていくかと思うんです。そういう相互作用でチームが良くなっていくのがいいのかなと感じています。

——その中でリーダーとしての決断や振る舞いが求められることもあると思います。

**佐藤専務理事**●会社で言えば、最後に責任を取るのは私ですし、重いものは背負っています。染谷選手もDFの要として、結果に対してさまざまなものを感じながら次の試合へと向かっていると思います。リーダーである、キャプテンである、それは使命ですね。いいときはあまり言わず、社員に不安を感じさせないようにしています。

**染谷**●サンガは今年、苦しいシーズンとなっていますが「これは、みんなにとっていい経験になった」と言えるようにしないといけません。苦しいときこそ、人が嫌がることを率先してできるかどうか。いま、佐藤さんは淡々と話されましたけれど、相当な苦労があったと思うんです。そうときにグッとこらえて、自分の立ち振る舞いなどでみんなを安心させてあげないといけないなと感じています。



### 日常生活にスポーツ文化がある、そんな未来へ

——最後に京都サッカーの未来について聞かせてください。

**佐藤専務理事**●これから後援会としてできること、やるべきことがあるはず。スタジアム完成が、いい転機となって欲しい。プロスポーツの文化が浸透して、みんなでスタジアムへ足を運び、日常的にサッカーが気になる。スポーツを身近に感じられる環境を作っていきたいし、そこに京都らしさがあればいいですね。プロアマ問わず、スポーツが日々の生活の中で安らぎになる。みんなであらって、そんな未来を目指したいです。

**染谷**●素晴らしいスタジアムが完成しますが、京都には多くの重要文化財があります。いまは京都＝観光というふうにはフォーカスされていますが、そこにサッカーが並べるような魅力を発信していきたいです。サンガの試合に行こう、サッカーを観に行こう、そこから観光にも行こう。そんな風に思ってもらえれば、サンガに入りたいなという子どもたちも増えると思うんです。そういう子どもたちを増やすことも、僕たち選手の使命だと思うんです。京都サンガと京都のサッカーをより明るいものにするために、自分のできることを精一杯やっていきたいです。

(10月16日/取材・文=雨堤俊祐)



京都パープルサンガ後援会 専務理事

## 佐藤 大臣仁

Takahiro SATO

1957年11月17日生まれ。愛媛県出身。京都パープルサンガ後援会が正式発足する前の準備段階から関わっているスタートアップメンバーの1人。現在、後援会の専務理事を務める。小学生の頃にサッカーを始め、就職後も京都府社会人リーグで30年以上プレーした。現在もシニアリーグで活動中。株式会社洛東工芸の代表取締役社長。

## 京都の観光情報なら

## 京都いいところウェブ



京都いいところウェブ



<https://kyoto.graphic.co.jp/>

旬の観光情報を発信する「京都いいところウェブ」。11・12月号の「木津川市」特集では、紅葉の名所やイベント情報、立ち寄りたおしゃなグルメスポットなどを紹介しています。もみじ狩りの参考に、ぜひご覧ください。



## 京都の地域情報なら

## Kyoto ebooks



京都ebooks



<https://www.kyoto-ebooks.jp/>

京都府の各地域の広報誌やフリーペーパーが、電子書籍で読めるポータルサイトです。いつでもスマホでご覧いただけます！



運営：株式会社グラフィック



## Featured Players

～後半戦を熱く彩る男たち～

文＝川瀬 太補／エルゴラッソ京都担当

## 相手より走って、アグレッシブに戦う姿勢を買きたい。



## 39 DF 黒木 恭平

くろき きょうへい●1989年7月31日生まれ。熊本県出身。福岡大学卒業後、サガン鳥栖、愛媛FC、レノファ山口FC、大分トリニータ、鹿児島ユナイテッドFCなど、さまざまなカテゴリーのクラブで経験を積んだ。この夏、期限付き移籍でサンガに加入。スピードを活かした強引なサイド突破で相手に脅威を与えるジョーカーとしてチームの活性化に貢献している。

@kyohei0731

サンガには“強い”というイメージがずっとありました。大分トリニータにいた去年も(ケヴィン・)オリス選手のFKから大黒(将志)選手に詰められて、ゲーム終盤に追い付かれたことを覚えています。「粘り強いな」という印象でした。そういうイメージもあったので、移籍の話聞いたときはすぐに決断しました。J3でプレーしていて「上のカテゴリーでやりたい」という気持ちもありましたし、その頃はサンガの順位が降格圏でしたが、「J2に残留する力になりたい」というやりがいも感じました。

庄司(悦大)やミヤ(宮城雅史)、レオ(望月嶺臣)とは、レノファ山口でも一緒にやっています。3人とも仲がいいですし、彼らがいることも心強かったというか、すんなりチームに入ることができました。特に庄司とは、レノファがJ3だった頃と同じ仕事をしていて、一日ずっと一緒に過ごしていたんですよ。今、振り返ると、「よくここまでやってこられたな」って思います(笑)。

自分が違いを出せるプレーは左足のキックやクロスです。そこには自信があります。でも、それを見せるためには、まず試合に出ないといけません。サンガではまだ2試合に途中出場しただけですが(※10月18日時点)、自分に求められているの

## Kyohei KUROKI

は、相手より走って、戦うということだと思います。やはり、今の最低限の目標はJ2残留。一番大事なのは勝点を取ることです。その目標を達成した上で、僕の良さも出していく。僕は、そのためにこのチームに来たと思っています。

(取材日:10月18日)

## mini Q&amp;A

- JFL～J1まで全カテゴリーでのプレーを通して感じる違いは？  
J1はやっぱプレーも判断も質が高い。でも、J3にもたくさんいい選手がいますし、JFLにいたけど今はJ1という選手もいます。みんなにチャンスが広がっていると思います。
- 京都の街や人の印象は？  
車が混む、観光客が多いという印象です。それと、ご飯屋さんで「おきに」と声をかけられたりして、フレンドリーな人が多いですね。
- オフの日には何をしていますか？趣味は？  
娘が来ている時は、清水寺や平等院といった京都らしい場所を巡っています。娘に会うことを目標に、毎日頑張っています(笑)。
- 好きなサッカー選手、影響を受けた選手は？  
福岡大学時代に、紅白戦で同期の石津大介(現アビスパ福岡)にボコボコにされたことがすごく印象に残っています。
- 左利きで得したこと、損したことは？  
サッカーでは得することはばかりです。でもサッカー以外では、ゴルフのクラブが少なかったり、バッティングセンターで速い球速しかなかったり、損をすることが多い(笑)。

## 今のサッカーにプラスαを積み上げればサンガはもっと強くなれる。



## 44 MF 庄司 悦大

しょうじ よしひろ●1989年9月14日生まれ。静岡県出身。専修大学卒業後、FC町田ゼルビア、レノファ山口FC、FC岐阜、ベガルタ仙台を経て、この夏サンガに期限付き移籍で加入。アンカーやボランチを主戦場とし、視野の広さと多彩なパスを駆使して、ゲームを組み立てる。第28節・岐阜戦では古巣を相手にサンガ初ゴールを挙げた。

@yoshihiroshoji

サッカーを始めたのは小1からですが、中学生まではストライカーだったんです。中3のときにボランチの選手がケガをして、なぜかその代わりをFWの自分がやることになりました。でもその試合で、確かハットトリックをしているんです。たぶん、その試合がなかったら、僕はボランチをやっていなかったと思います。

ボランチというポジションに面白さを感じ始めたのは、大学3年の頃ですね。高校時代は監督が怖くて、「ボランチをやらされていた」イメージがあって(笑)。自分は“ゲームをつくる”タイプだと思っていますが、そういうプレーを評価してもらえるようになったのも大学からです。ですが今のサンガでは、自分の持ち味のパスより、まず守備をすることが求められています。そこは完全にふつきました。ターニングポイントは0-2で負けた第34節・栃木SC戦。あの敗戦で、「このチームで勝つには、やりたいプレーだけしてはダメだ」と強く感じました。

最近は少しずつ結果が付いてきていますが、それはチームがまとまってきて、「全員で守りきる」試合ができるようになったからだと思います。ミスがあってもみんなでカバーし合い、全員がゲームの中で戦っています。自分たちの状況や順位を理解して、

## Yoshihiro SHOJI

それに合った戦いができていることも大きいですね。ただし、それだけでは相手に脅威を与えられないということも感じています。今の戦い方にプラスして、ボールも動かせる、人数をかけて前にもいける。そういう、相手に嫌がられることができるようになれば、サンガはもっといいチームになると思います。

(取材日:10月16日)

## mini Q&amp;A

- オフの日には何をしていますか？趣味は？  
移籍してきたばかりの頃は、京都の世界遺産を周りまわした。今は子どもが「動物園がいい」と言ったら動物園に行ったり、家族サービスをしています。
- 京都の街や人の印象は？  
住みやすいし、京都の街は好きです。子どもの幼稚園に行った時に先生がめっちゃ関西弁で、「すげえな」と思ったんですが、今は子どもが変な関西弁を使っています(笑)。
- 好きなサッカー選手、影響を受けた選手は？  
好きなのはポジションが同じアンドレア・ピルロとシャビ・アロンソ。「そのステップでそのパスを出せるんだ。すごい」とか、映像を見ながら思っていました。
- 試合前のルーティンやゲン担ぎは？  
勝ってない時に、気まぐれでスニーカーを変えたりするぐらいですかね。
- 自分の性格を一言で表現するならば？  
めっちゃ人見知り。サポーターの方にも「機嫌が悪い」と思われてるでしょうけど、初対面だと目も合わせられない(笑)。でも、怒っているわけじゃないですし、申し訳ないとも思っているんですよ。

THE NEW VALUE FRONTIER

KYOCERA

京セラインダストリアルツールズ株式会社

RYOBI

高圧水で  
汚れを落とす



## 「リョービ高圧洗浄機」ラインアップ



AJP-1210



AJP-1310



AJP-1420A



AJP-1520A



AJP-1620A



AJP-2050



AJP-1700VGQ



AJP-2100GQ

詳しくは  
こちら動画は  
こちら







# ホームタウンで アツテQ! 第9回 京田辺市

2018シーズンは、各ホームタウンで盛んなスポーツなどを選手が自ら体験!!

2 DF 磐瀬 剛 & 7 MF 田村 亮介  
×  
ハンドボール

1988年の京都国体で試合会場になったことを契機に京田辺市はハンドボールの普及に力を注いできました。今回は磐瀬剛選手と田村亮介選手(京田辺市在住)が、京田辺市立新小学校を訪れ、小学生の強豪選手たちに混じってハンドボールに初挑戦!!



京都市サンガF.C. 7 MF 田村 亮介選手 京都市サンガF.C. 2 DF 磐瀬 剛選手

京田辺市は1988年の京都国体のハンドボール会場になって以来、市内の全小学校9校にハンドボールクラブがつくれ、毎年、全国小学生大会を開くなど、地域のスポーツ振興を図ってきました。現在では京田辺市の小学校が全国大会で好成績を挙げただけでなく、京田辺市出身の選手が日本代表チームや、日本ハンドボールリーグで活躍し、“ハンドボールのまち”として知られるようになりました。また2021年に開催される国際大会「ワールドマスターズゲームズ2021関西」でも京田辺市がハンドボールの会場となることが決定しています。

磐瀬剛選手と田村亮介選手が訪れた京田辺市立新小学校は全国トップクラスの



ハンドボール強豪校で、8月に行われた「第31回全国小学生ハンドボール大会」において男子が見事に優勝、女子も3位の好成績を収めました。今回、参加させていただいたのは、6年生の練習。あいさつと自己紹介の後、さっそくストレッチとウォーミングアップを一緒に行いました。ハンドボールは「走る」「投げる」「飛ぶ」など、さまざまな運動の要素があり、サッカーではあまり行わない「倒立」で体幹の筋肉やバランス感覚を鍛えるトレーニングがありました。

次はいよいよボールを使った練習。最初はキャッチボール風の練習でハンドボール特有の投球フォームを練習する磐瀬選手と田村選手。「これなら簡単にできそう」と思い始めた頃から、走りながらのパス、3人でローテーションしながらのパス、2チームが入り乱れてのパスなど、どんどん複雑になり、スピードも上がっていきます。さらにシュート練習も加わると、2人の目はさらに真剣味を帯びてきた様子。小学校6年生にもなると体格やパワーが大人に近くなるため、シュートはかなり迫力があります。シュート練習では乙村直人監督から「初めてなのにうまくジャンプシュートができています。飛んだ瞬間、体を開いてから体をひねるようにして投げるとさらに良くなりますよ」



とお褒めの言葉とアドバイスをいただきました。最後は磐瀬チームと田村チームに分かれて、お待ちかねのミニゲーム。ゴール前でがっちりブロックを固め、ボールを奪ったら一気に全員で攻め込むスピード感は、なかなかのもの。サンガの2選手もフリーでボールを受けられるスペースを探してサイドに張ったり、ゴール前で待ち構えたりと、自分なりに工夫をしていました。気づけば仲間に声をかけてパスを要求するなど、夢中でプレーをしている様子でした。(10月9日取材)

ハンドボールの迫力とスピード感に魅せられ、一瞬で夢中になった!

## ①パス練習



野球のように肘を使って投げるのではなく、相手選手のブロックを避けられるよう、大きく腕を上から回すようにボールを投げるのがハンドボールの特徴です。

## ②シュート練習



ハンドボールの大きな醍醐味のひとつはダイナミックなシュート。ゴールエリアラインに入ってシュートするのは反則ですが、空中でラインを越えて投げるのはオッケー。

## ③ミニゲーム



磐瀬チームと田村チームに分かれてのミニゲーム。田村チームは「もっとプレスかけたい方がいんとちゃう?」と臨みますが、5-6で磐瀬チームの勝利。

みんなよく声を出しながらプレーしていて、めちゃくちゃ面白い!初めての経験でしたが、サッカーとの共通点や相違点のどちらも興味深く楽しかったです!



新小学校ハンドボールクラブの皆さん、ご協力ありがとうございました!

## 京都府 × 京都サンガ F.C. オレンジリボンキャンペーン

今年も西京極スタジアムで啓発活動を実施!  
(11月10日(土) 京都サンガF.C. vs ジェフユナイテッド千葉戦)

### チェックポイント

- ①オリジナル啓発グッズのプレゼント!
- ②サンガの選手によるコラボ啓発動画を電光掲示板で表示
- ③選手キャプテンがオレンジ色のキャプテンマークを着用!
- ④サンガのコーチによるサッカー教室の開催



オレンジリボン運動は、「子ども虐待のない社会の実現」を目指す市民運動です。京都府では、一人でも多くの方が児童虐待や子どもの人権について関心を持ち、身近にできることから実践していただくきっかけとなるよう、11月の推進月間を中心に「オレンジリボンキャンペーン」に取り組んでいます。わたしたち一人ひとりの行動によって、子どもたちの明るい未来をつくることができます。

「虐待かも?」と思ったら...



お住まいの地域の児童相談所につながります。※一部のIP電話からはつながりません。※通話料がかかります。



# サンガがまちにやってくる!! 京都サンガF.C. スポーツアカデミースペシャル

「京都サンガF.C.スポーツアカデミースペシャル」は、サンガの「地域密着活動」の一環として、トップチームの選手やコーチが小学校の授業時間に訪問し、一緒に身体を動かしたり、サッカーをしたりして、スポーツの楽しさや素晴らしさを伝える恒例行事として、毎年春と秋の2回実施しています。この秋は、10月16日と23日に、京都府下にある15校を訪問し、たくさんの子どもたちと、ふれあいのひとときを過ごしてきました!



## START! 黒木恭平選手と金久保順選手が訪問!!



あいさつと自己紹介からスタート☆  
始まる前からきちんと整列して待っていてくれた子どもたちの様子から、この日を楽しみにしてくれていたことがしっかり伝わってきました。



## 手押しずもう & 引っ張り合いっこ

最初のメニューはゲーム感覚でふれあいながらお互いの距離を縮めていくために「手押しずもう」と「引っ張り合いっこ」をしました。まずはお友だち同士でやって勝った方が選手に挑戦。次々とやってくる子どもたちのパワーに選手たちも思わず笑顔に。



今回、取材にご協力いただいた木津川市立城山台小学校の4年生の皆さん、ありがとうございました!



今回のプログラム進行を担当したのは大槻優平コーチ(U-12SPコース/U-18兼任)。「サッカーはみんなで協力することが大事だよ!」と子どもたちに声をかけていました。



## リフティング & シュート実演

次にプロサッカー選手の技術を間近で体験してもらうために、リフティングとシュートを実演。最初に金久保選手がリフティングの技を披露すると、「おお〜」「すごい!」と歓声が。ゴール裏で見学した黒木選手の力強いシュートには、驚きの声が上がっていました。



## クラス対抗 手つなぎリレー

輪になって手をつないでコースを回る「手つなぎリレー」。手を離れてしまったり、誰かが転んだりしないよう、足並みを揃えて走る必要があります。途中からボールをみんなで運ぶようにして難易度が上がりましたが、「いち、に」と声をかけながらチームワークがどんどん高まっていきました。



## クラス対抗 ゲーム

みんなが楽しみにしていたサッカーの試合。黒木選手と金久保選手はフリーマンとしてチームに入り、プレーしました。最初は夢中になってボールを追いかけていたみんなも、励まし合ってゴールを守ったり、声を出してパスを要求したり、わずかな時間にも関わらず、どんどんチームらしく協力し合うようになりました。



## 質問コーナー & 最後のあいさつ

いっぱい体を動かした後は質問コーナー。「サッカーがうまくなるためにどんなことをしていますか?」という質問から、「奥さんいますか?」という珍問まで飛び出しました。最後は子どもたちから感謝の言葉をいただき、記念品の贈呈や記念撮影をして終了。

### ■10月16日実施校■

京都市立美豆小学校(京都市)  
京都市立久世西小学校(京都市)  
京田辺市立田辺東小学校(京田辺市)  
向日市立第3向陽小学校(向日市)  
木津川市立城山台小学校(木津川市)  
宇治市立小倉小学校(宇治市)  
亀岡市立亀岡小学校(亀岡市)  
京丹波町立和知小学校(京丹波町)

### ■10月23日実施校■

京都市立安来小学校(京都市)  
京都市立小野小学校(京都市)  
京都市立鳳徳小学校(京都市)  
亀岡市立つばき丘小学校(亀岡市)  
長岡京市立長岡第9小学校(長岡京市)  
城陽市立深谷小学校(城陽市)  
南丹市立園部小学校(南丹市)

## FAMILY INADA SPECIAL DAY ファミリーイナダ スペシャルデー

2018 MEIJI YASUDA J2 LEAGUE -41 11/10(SAT) VS JEF UNITED CHIBA



家庭医療機器  
LUPINUS LIGHT  
ルピナスライト



「人工知能システム」と「通信ネットワーク」を搭載。充実のマッサージと健康管理を実現。

ファミリーメディカルチェア ルピナスライト FMC-LPN9000

家庭医療の未来が、  
始まりました。

西京極で  
クイズに答えて

ファミリーメディカルチェア  
『ルピナスライト』  
1名様にプレゼント!!

下のクイズの○に当てはまる言葉をご記入のうえご応募ください。  
(クイズ)

『ファミリーメディカルチェア ○ピナス』

●応募締切: はがきでご応募の場合は11月19日(月)消印有効  
※詳しくはサンガオフィシャルサイトをご覧ください。

仲間と一緒に応援に行こう!

大学生1,000名  
特別ご優待キャンペーン

ジェフユナイテッド千葉戦  
11.10 sat 15:00 Kickoff @西京極スタジアム

対象者

京都府下に在住、または京都府下の大学・大学院・専門学校へ在学の大学生

対象席種/価格

SB自由席/1,000円(通常前売価格2,050円)

お申込方法

右記QRコードよりお申込みください。





## Next Generation ~進化はサンガアカデミー~

高円宮杯JFAU-15サッカーリーグ2018関西 サンライズリーグ  
サンガU-15が準優勝!

中学生年代の年間リーグ戦「高円宮杯JFAU-15サッカーリーグ2018関西 サンライズリーグ」の全日程(22節)が終了し、京都サンガF.C.U-15は13勝4敗5分でリーグ2位となり、12月22日から開幕する、全国大会「高円宮杯 第30回全日本ユース(U-15)サッカー選手権」への出場権を獲得しました。

## ■高円宮杯 JFA 第30回全日本U-15サッカー選手権大会

- 【主催】公益財団法人日本サッカー協会  
 【主管】公益財団法人群馬県サッカー協会  
 一般社団法人大阪府サッカー協会  
 公益財団法人東京都サッカー協会  
 【後援】スポーツ庁  
 【日程】2018年12月22日(土) 1回戦  
 12月23日(日) 2回戦  
 12月25日(火) 準々決勝  
 12月27日(木) 準決勝  
 12月28日(金) 決勝  
 【会場】会場:1回戦〜準々決勝/群馬県、大阪府  
 準決勝〜決勝/味の素フィールド西が丘(東京都)  
 【組合せ】11月下旬に発表

▶皆さまの熱い声援をよろしくお願いします!

U-16日本代表「AFC U-16選手権マレーシア2018」優勝!  
~U-18中野桂太選手と中野瑠馬選手が出場~

9月20日~10月7日までの期間、マレーシアで開催された「AFC U-16選手権マレーシア2018」へ、U-16日本代表として、サンガU-18所属の中野桂太(けいた)選手と中野瑠馬(りゅうま)選手が出場し、大会優勝を果たしました。この結果、来年にペルーで開かれる、U-17ワールドカップの出場権を獲得。今大会を振り返り「チームとして優勝できたことはとても嬉しい。

でも、(出場時間や個人の結果という点では)すごく悔しい(桂太)」「スタメンは1試合しかなかった。試合に出たら一歩走って、チームに貢献しようと思った(瑠馬)」と、優勝の喜びを感じながらも、それぞれがこれからの課題を十分に見つけた大会でもありました。日本を12年ぶりの優勝へ導いた今大会期間中に、AFC U-16選手権に出場した、U-18の先輩からの応援メッセージも届いたそう。日頃から世界大会で活躍した先輩の姿をみて、刺激を受け続けた後輩たちが結果を出しました。残りのシーズンに向けて、「3年生と一緒にプレーできる残りの期間、泥臭く、ミスを恐れずプレーして、チームに貢献したい」と力強く話してくれました。



**中野 桂太**  
Keita NAKANO  
2002年8月27日生  
166cm/64kg  
滋賀県草津市出身  
サンガU-15より昇格



**中野 瑠馬**  
Ryuma NAKANO  
2002年10月6日生  
166cm/59kg  
大阪府高石市出身  
賢明学院中より加入

## 2018 J YOUTH CUP

## サンガU-18、Jユースカップ2回戦敗退

## ■試合結果

- 【1回戦】10月13日(土) 17:00 @京都サンガF.C.東城陽グラウンド  
 京都サンガF.C.U-18 3-0 FC町田ゼルビアユース  
 【2回戦】10月20日(土) 15:00 @京都サンガF.C.東城陽グラウンド  
 京都サンガF.C.U-18 1-2 水戸ホーリーホックユース

10月13日(土)に開幕した、「2018 Jユースカップ 第26回Jリーグユース選手権大会」では、1回戦を完封勝利で飾るも、2回戦で



延長の末、水戸ホーリーホックユースに敗戦し、2回戦で大会を終了しました。残念な結果となりましたが、次へ切り替え、11月下旬から再開する、高校生年代最高峰のリーグ戦「高円宮杯JFAU-18サッカープレミアリーグ 2018<WEST>」での初優勝を目指し、スーパーハードワークで戦います。

## 高円宮杯 JFA U-18 サッカープレミアリーグ 2018

サンガU-18、単独首位をキープ!!  
U-18プレミアリーグ

※10月26日現在

## ■高円宮杯 JFA U-18サッカープレミアリーグ 2018 &lt;WEST&gt;順位表

| 順位 | チーム                   | 勝点 | 試合数 | 勝 | 分 | 敗  |
|----|-----------------------|----|-----|---|---|----|
| 1  | 京都サンガF.C.U-18(京都府)    | 30 | 15  | 9 | 3 | 3  |
| 2  | サンフレッチェ広島F.C.ユース(広島県) | 28 | 15  | 8 | 4 | 3  |
| 3  | 東福岡高校(福岡県)            | 25 | 15  | 7 | 4 | 4  |
| 4  | 名古屋グランパスU-18(愛知県)     | 24 | 14  | 7 | 3 | 4  |
| 5  | ガンバ大阪ユース(大阪府)         | 23 | 13  | 6 | 5 | 2  |
| 6  | セレッソ大阪U-18(大阪府)       | 23 | 15  | 7 | 2 | 6  |
| 7  | アビスパ福岡U-18(福岡県)       | 19 | 14  | 6 | 1 | 7  |
| 8  | ヴィッセル神戸U-18(兵庫県)      | 18 | 14  | 6 | 0 | 8  |
| 9  | 阪南大学高校(大阪府)           | 11 | 15  | 3 | 2 | 10 |
| 10 | 米子北高校(鳥取県)            | 3  | 14  | 1 | 0 | 13 |

10月26日現在

■EAST/WESTそれぞれの優勝チームは、ファイナル出場権を獲得

■EAST/WESTそれぞれの下位2チームは、次年度のプリンスリーグへ自動降格

## ■今後の試合日程

| 節    | 開催日       | キックオフ | 対戦相手             | 会場       |
|------|-----------|-------|------------------|----------|
| 第16節 | 11月25日(日) | 16:30 | ガンバ大阪ユース         | OFA万博フット |
| 第17節 | 12月 1日(土) | 15:00 | 名古屋グランパスU-18     | 東城陽      |
| 第18節 | 12月 9日(日) | 13:00 | サンフレッチェ広島F.C.ユース | 吉田サッカー公園 |

※スケジュールは急ぎ変更になる場合がありますので、オフィシャルサイトでご確認ください

## Information ~サンガコミュニケーション~

## 業界初! 気象予報士・前田智宏氏がオフィシャルウェザーアドバイザーに就任

毎日放送の番組「ちんぷいぶい」でレギュラーとして活躍中の前田智宏(まえだ ともひろ)気象予報士が、「京都サンガF.C.オフィシャルウェザーアドバイザー」に就任することとなりました。

京都市育ちの前田気象予報士は天気を通じて、ファン・サポーターの皆さまをサポートしたいという思いから、今回就任いただくことになりました。

ホームゲーム前にツイッター上で、「天気」をキーワードにファン・サポーターに情報提供いただくほか、西京極でのイベントなど、さまざまな形でコラボをしていく予定ですので、ぜひサンガオフィシャルTwitterアカウントをフォローしてください!



## ■プロフィール

**前田 智宏**  
Tomohiro MAEDA  
1988年12月26日生  
京都府京都市出身  
京都大学 教育学部 教育科学科卒業  
株式会社 南気象予報士事務所 所属  
※主に毎日放送の番組に出演中  
@tomohiro5296

「京都サンガF.C.オフィシャルウェザーアドバイザー」というカッコいい肩書をいただき、身の引き締まる思いです...! 京都出身の私にとって、こういう形でサンガに携わることができるのは大きな喜びです。「西京極ウェザー」から皆さんを守れるように!そして、皆さんとともにサンガに追い風を吹かせられるように!心をこめて活動していきたいです。一緒に京都を盛り上げていきましょう!よろしくお願いします。

▶西京極の天気情報は公式Twitterで!! @sangafcf

週末ナイター! 大人のサッカー教室  
参加者募集中!!

「大人のサッカー教室」12月開催分の参加者を募集中。初心者も大歓迎! サッカーの楽しさと体を動かす爽快感を味わいませんか?

【募集クラス】ビギナークラス(初心者)・チャレンジクラス(経験者)

【日時】Bコース:12月8日(土)、15日(土)、22日(土)の19:30~21:00/全3回

【対象】18~55歳までの男女 ※高校生不可

【料金】大人スクール生・一般女性:5,600円、一般男性:6,700円(税込)

【定員】各クラス30名程度

【場所】サンガタウン城陽人工芝グラウンド

詳細は右のQRコードから▶



次号

SANGATIMES 2018年12月1日発行予定

2018シーズンの振り返りやホームタウン企画など、盛りだくさんでお届けします!!

京都サンガF.C.オフィシャルフリーペーパー「サンガタイムズ」Vol.69

2018年11月1日発行

企画ディレクション/京都サンガF.C.  
発行/株式会社京都バーブルサンガ  
〒600-8009

印刷/株式会社グラフィック

京都府京都市下京区四条通室町東入函谷町 87  
ケイアイ興産京都ビル

※本誌の無断複製(コピー)、転載は、著作権法上の例外を除き  
固く禁じられています。